

大竹市の公共交通に関するアンケート調査について

アンケート調査は、以下の2種類実施する。

- ①住民を対象とする「市民アンケート」
- ②バス利用者を対象とする「バス利用者アンケート」

1. 対象・抽出数

①市民アンケート

- 大竹市内居住者に配布。
- 郵送配布、郵送回収。
- 配布枚数は3,000世帯とする（大竹市内世帯数の約26%程度）。
- なお1世帯あたりに、調査票を2枚配布する。
 - ・ 1枚目：サンプリングした宛先の該当者が記入
 - ・ 2枚目：その他に、15歳以上の方が居れば記入
 （他に該当者が居ない場合は、無記入のまま返送して頂く）

②バス利用者アンケート

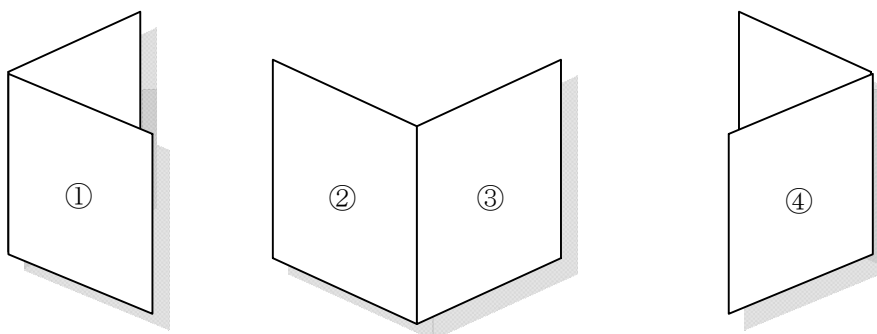
- 路線バス（大竹・栗谷線、坂上線）の利用者に配布。
- 調査員がバスに乗車し、全ての乗降客に手渡しで配布。郵送回収。
- 配布は、平日（1日）に実施。
- 1日に複数回乗車する人には、1枚だけ配布。（例えば“行き”で配布した方には、“帰り”は配布しない。）

※（参考）：H19年9月の平日平均乗降者数

- ・ 坂上線 : 122 人
- ・ 大竹・栗谷線 : 47 人 計 169 人

2. 調査票の構成

- 調査票は下記のとおりA4の4面構成を想定。また別途、A4の「お願い文」を封入。
- 「お願い分」裏面に、バスの「利用状況」や「損失補填状況」等の情報を掲載。
- 発送用の封筒に、返信用封筒と調査票を同封し発送。
 - （バス利用者アンケートは、返信用封筒に封入し、手渡し。路線毎に調査票の色を変える。）
- 回答者は、返信用封筒に回答した調査票を入れて返送。



3. 質問内容

主な質問内容は以下の通り。

	把握の目的	①市民アンケート	②バス利用者アンケート
個人属性	—	・性別、年齢、住所、職業、運転免許の有無等	同 左
交通環境について	・現在の交通環境(利用できる交通手段)と、その満足度を把握する	・普段外出するときの交通手段 ・その利用理由、満足度、不満内容	同 左
普段の交通行動について	・市民の主な行動パターンを把握し、新しい交通機関のルート検討の基礎資料とする	・買い物、病院、その他目的での交通手段 ・目的地、頻度、出発時間	(調査票を受け取ったときの行動について) ・目的、出発地、目的地、乗降バス停、頻度、利用理由など
既存バスについて	・既存バスの満足度を把握する ・改善要望を把握し、再編時の基礎資料とする	・バスの認知度 ・満足度、今後の整備必要性	・路線バスの満足度 (運行ルート、バス停位置、運賃、運行本数、運行時間帯等) ・路線バスの問題点・改善要望 ・今後の整備必要性
鉄道駅について	・利用駅を把握し、新しい交通機関のルート検討の基礎資料とする	・よく利用する鉄道駅 ・頻度、交通手段、所要時間	同 左
導入要望について	・新しい交通機関の利用ニーズを把握する ・新しい交通機関のサービス水準検討の基礎資料とする	・新しい交通機関の導入に対する要望 ・利用頻度、利用条件、料金、ルート、利用する運行時間	同 左
交通政策について	・個々の事情に応じた(具体的な)要望等を把握する	交通体系に対する要望や利用促進アイデア(自由意見)	同 左